

## 平成28年産水稻の8月15日現在の生育状況 (愛媛県)

### 【調査結果の概要】

愛媛県における8月15日現在の水稻の生育は「平年並み」で推移しています。作柄表示地帯別にみると、東予が「やや良」、中予が「平年並み」、南予が「やや不良」で推移しています。

図 水稻の作柄表示地帯別生育状況

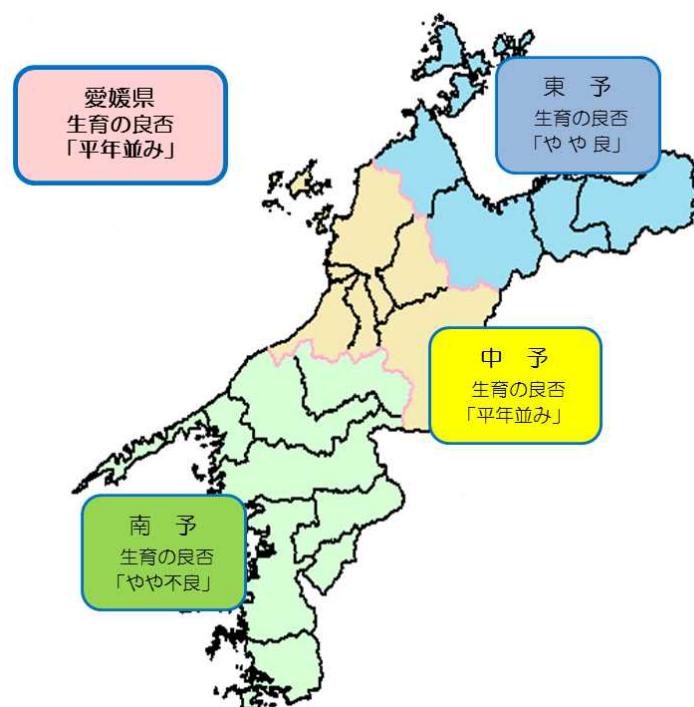


表1 平成28年産水稻の田植及び出穂の状況（8月15日現在・愛媛県及び作柄表示地帯別）

区分	田植期				出穂期				出穂済面積割合						
	始期	最盛期	終期	最盛期の比較		始期	最盛期	終期	最盛期の比較						
				対平年	対前年				対平年	対前年					
愛媛県	月 日	月 日	月 日	4.23	6. 2	6.21	並み	1日遅	7.16	8.11	…	3日早	4日早	58	4
東予	4.19	6.11	6.25	1日早	並み	7.15	…	…	…	…	…	…	…	31	4
中予	5. 6	6. 8	6.20	1日早	並み	7.23	8. 7	…	3日早	4日早	…	…	…	68	4
南予	4.13	5.14	6.15	1日遅	2日遅	7. 9	7.29	…	4日早	4日早	…	…	…	85	4

表2 生育状況（8月15日現在）

区分	平年比較		
	生育の良否	草丈の長短	茎数の多少
愛媛県	平年並み	平年並み	平年並み
東予	やや良	平年並み	やや多い
中予	平年並み	やや長い	平年並み
南予	やや不良	平年並み	やや少ない

## 【調査結果】

### 1 生育

6月が日照不足であったため、草丈は軟弱徒長傾向にあったものの、7月以降高温多照で推移したことから回復し、中予では「やや長い」ものの、県全体では「平年並み」となりました。また、茎数は上記の気象要因から日照不足の影響を受けた田植期の早い水稻（あきたこまち、コシヒカリ等）の分げつはやや悪く、7月の多照の影響を受けた田植期の遅い水稻（ヒノヒカリ、にこまる等）ほど分げつは旺盛となりました。このことから比較的田植期の早い南予では「やや少ない」、田植期の遅い東予では「やや多い」となり、県全体では「平年並み」となっています。

### 2 田植及び出穂の状況

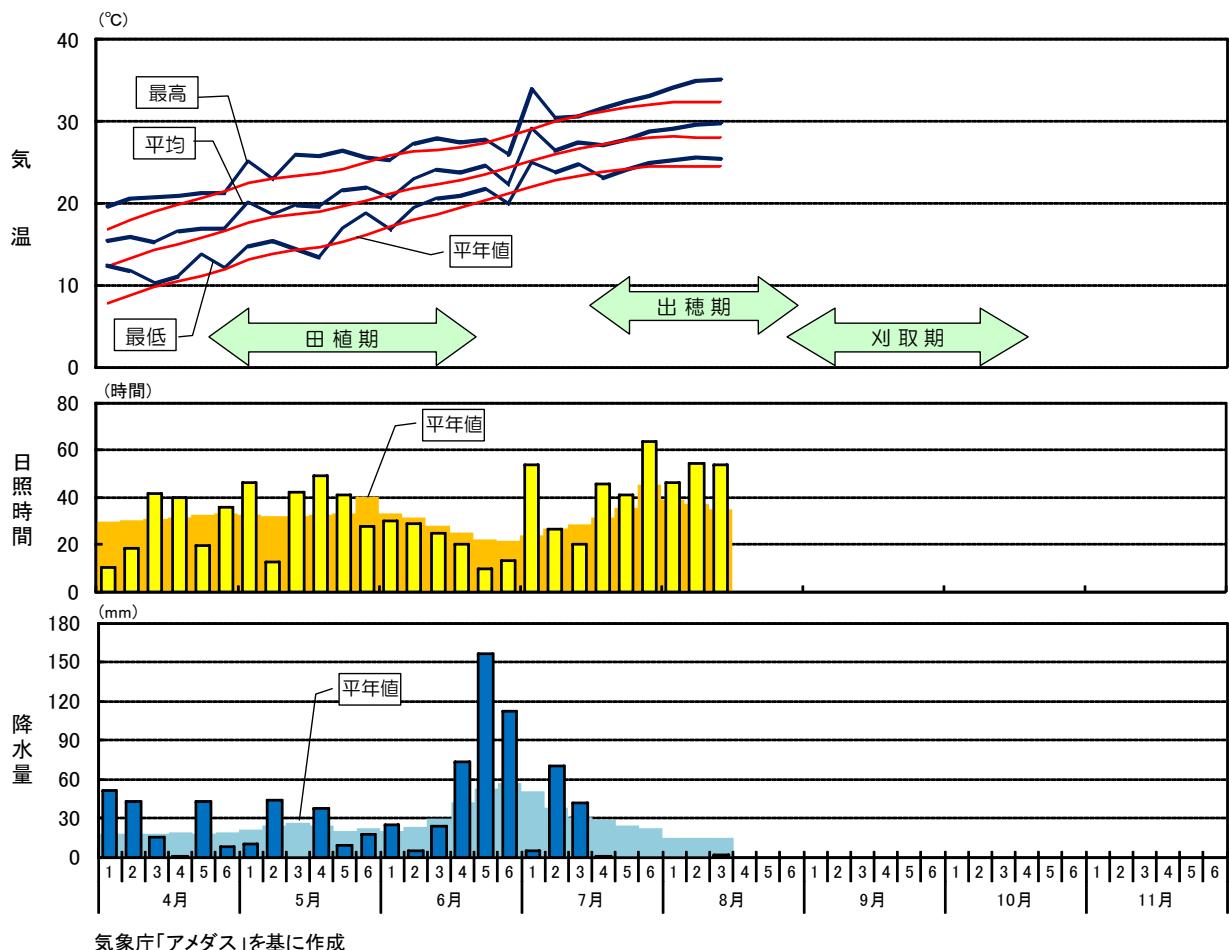
田植最盛期は、平年並みの6月2日となりました。

出穂最盛期は、平年に比べ3日早い8月11日となりました。また、8月15日現在の出穂済み面積割合は58%で平年に比べて4ポイント上昇しました。

以上のことから、愛媛県の水稻の生育は「平年並み」で推移しています。作柄表示地帯別にみると、東予が「やや良」、中予が「平年並み」、南予が「やや不良」で推移しています。

◎ 半旬別気象図

松山市の気象図



◎ 累年統計表

区分	田植期			出穂期			8月15日現在出穂済面積割合	10a当たり収量	作況指数
	始期	最盛期	終期	始期	最盛期	終期			
平成23年	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	%	kg	
24	4.25	6.2	6.21	7.18	8.14	9.3	54	502	101
25	4.23	6.2	6.21	7.18	8.14	9.3	53	490	98
26	4.23	6.2	6.22	7.16	8.12	9.1	58	493	99
27	4.22	6.1	6.21	7.18	8.15	9.2	52	490	98
							53	488	98

作柄表示地帯	市　町　村　名
東予	今治市、新居浜市、西条市、四国中央市、上島町
中予	松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町
南予	宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、鬼北町、松野町、愛南町

本資料は、「平成28年産水稻の8月15日現在における作柄概況、生育状況（中国四国地域）」の補足資料です。

調査の概要や注意書きは、「平成28年産水稻の8月15日現在における作柄概況、生育状況（中国四国地域）」をご覧ください。

**【お問合せ先】**

中国四国農政局 愛媛県拠点 統計チーム 担当：田中、近藤  
電話：089-932-1178 内線465または461 FAX：089-946-2991